

お知らせ

8月15日(金)第32回岩沢まつりを開催します。詳細は8月初旬に配布されるチラシをご覧ください。

岩 沢 通 信

第79号

2018年5月25日創刊

発行 岩沢アチコタネーゼ・岩沢分館

岩沢地域振興協議会・岩沢福祉会

編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

アトラクションに「みんぷろざ」登場

デイホームいわさわ納涼祭

梅雨もまだ明けない7月9日、ジメジメを吹き飛ばすべく、恒例の納涼祭が住民センターにて開催された。冒頭小泉竹夫会長からは「毎日暑い日が続きますが、体調管理に気を付けて、いつまでもデイホームに参加してください」と挨拶。その後、市之口の佐藤澄子さんの乾杯で懇親会がスタート。

後半にはカラオケと抽選会も行われ、参加者は夏の一時、暑さを忘れて楽しい時間を過ごしたようだ。



なつかし写真館

「岩沢のどっお」出版記念報告会

平成19年7月11日



手踊りを披露しているのは、初代地域振興支援職員の久保田千昭さんである。住民センターの会場内には紅白幕が張られ、テーブルには花も飾り、会が盛大に行われたことが伺われる。まごころ市の皆さんも、この頃は勢いがありました。

三地区で今後の地域運営について考える

真人、東山、岩沢の三地区が集まり、中山間地が抱える課題について話し合う懇談会が7月12日住民センターにて来賓、役員20名を集めて開催された。毎年この時期に持ち回りで行われる会議であり、今年は岩沢地区担当で通算14回目の開催となる。

話題提供では、「今後の地域運営について」との話題で、岩沢の地域づくり支援員から昨年行った住民アンケートの結果と分析について概要の説明。その後長谷川正夫振興会



新たに地域おこし協力隊を募集

総会で役員の交代も提案

6月21日住民センターにおいて、令和7年度の岩沢アチコタネーゼ定期総会が開催された。議事では令和6年度の事業と会計が報告され、令和7年度の事業計画と予算も承認された。役員改選では、事務局から、会長に駒井和彦さん、副会長に関口貞幸さんとの提案があり、参加者から異議無しとのことで新しい代表に駒井和彦さんが就任することとなった。また、今年度山紫の後継者及び地域活性化を目的として、地域おこし協力隊の募集を開始したことが報告された。



公共事業要望箇所を現地踏査で確認

今年の進捗はいかに

6月26日に小千谷市、7月17日は新潟県の管理する道路や河川について提出した公共事業要望の現地踏査が地域内で行われた。長谷川正夫振興会長、佐藤和俊町内長協議会長、駒井和彦市議そして要望のあった各町内会長が市や県の担当者と一緒に、一つ一つの現場を確認し、佐藤土建の山田利彦さんが長年懸案になっていることや、新たに発生した箇所などの説明を行った。小千谷市からは軽微なもの、その場で補修を行うとの回答があったが大規模な物については持ち帰って後日回答するとの事であった。また17日に行われた県



来場者に喜んでもらえる企画を 岩沢まつり実行委員会

第32回と
なる岩沢まつり
に向けて、各担当者が集まる実行委員会が6月20日住民センターで

行われた。事務局となる長谷川一貴さんから10日に開催された本部会議の内容について一通りの説明があった後、実行委員会からは細かい点について質問が相次いだ。今年も岩沢まつりは8月15日金曜日の夕方6時から演芸や夜店がスタートし、大花火大会は夜8時打ち上げ開始となる。



みんなで守る地域の宝 多数の役員が整備に汗

7月6日岩沢地域振興協議会と岩沢ブナ林を守る会では函山城址、

朝7時30分にブナ林前に集まった役員に対し大淵敏明振興会副会長から「朝早くから参加いただきありがとうございます」と挨拶。その後それぞれの場所に別れて草刈りや除草剤撒き、落ちた枝の撤去を行った。作業は約1時間で終了し、ブナ林や函山城址の周りは美しい姿を取り戻した。



後、その山を下り小学校の跡地に草刈りを行った。この

編集後記

先月の「岩沢通信」発行後に嬉しい出来事がありました。窓口にある方が来られて「広報誌が余っているなら6部ほど欲しい」とのこと。何に使用するかと聞いたところ、来所者は先月のなつかしい写真館のコーナーに載っていた写真の家族で、岩沢に住んでいない身内にも配りたいとのこと。このような反応があると編集者としては嬉しい限りです。そんなこんなで、調子に乗ってしまっただけの第2弾は「岩沢のこつこつお」出版記念報



告会です。写真の主、久保田千昭さんは今年3月末に小千谷市公民館の館長を退職された後、6月17日から、社会福祉法人小千谷市社会福祉協議会の会長に就任されています。市役所や様々な分野で活躍されてきた久保田会長の事で、これから、成果を上げてくれるものと岩沢としても期待していますね。……(一)